



# 平成30年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

上場取引所 東

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	7,534	1.2	157		94		123	
29年6月期第1四半期	7,445	3.1	131		141		173	

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 146百万円 ( %) 29年6月期第1四半期 326百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	6.69	
29年6月期第1四半期	9.38	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第1四半期	26,067	10,022	38.4	542.08
29年6月期	23,520	10,279	43.7	556.01

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 10,022百万円 29年6月期 10,279百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期				6.00	6.00
30年6月期					
30年6月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	4.2	1,200	0.1	1,200	13.3	600	30.2	32.45
通期	36,000	3.5	1,100	17.4	1,100	27.9	500	40.9	27.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期1Q	18,590,000 株	29年6月期	18,590,000 株
期末自己株式数	30年6月期1Q	102,008 株	29年6月期	102,008 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期1Q	18,487,992 株	29年6月期1Q	18,487,112 株

(注) 期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(30年6月期1Q37,000株、29年6月期37,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年6月期1Q37,000株、29年6月期1Q38,000株)。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年7月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善の効果により全体として緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、節約志向や低価格志向は解消されておらず、消費者ニーズの多様化への対応が求められるなど引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高75億34百万円（前年同四半期比88百万円（1.2%）の増加）、営業損失は1億57百万円（前年同四半期は営業損失1億31百万円）、経常損失は94百万円（前年同四半期は経常損失1億41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億23百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億73百万円）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

#### ① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、当社の主軸商品群である「減塩商品」に、はんぺんをラインナップとして追加するとともに、長年ご愛顧いただいている基幹商品のリニューアルや品質改善を実施してまいりました。

また、「うな次郎の日」として7月26日を記念日登録した「うなる美味しさうな次郎」や白身魚独特のほぐれ感を実現した「サラダフィッシュ」などが堅調に推移したことにより、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

利益面においてはエネルギーコストが増加したことに加え、労働力不足による人件費の増加がありましたが、売上高の増加により前年同四半期と同水準となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は66億19百万円（前年同四半期比1億16百万円（1.8%）の増加）、セグメント損失（営業損失）は56百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）56百万円）となりました。

#### ② きのこと事業

当セグメントにおきましては、夏から初秋にかけて天候不順が続き、野菜市場価格は大きく変動しましたが、きのこの市場価格は堅調に推移しました。生産面においては品質改善及び安定栽培に努め、また、販売面においては販売促進を強化しましたが、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は7億86百万円（前年同四半期比28百万円（3.4%）の減少）、セグメント損失（営業損失）は1億38百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）1億14百万円）となりました。

#### ③ その他

##### (運送事業・倉庫事業)

運送事業におきましては、燃料費等の経費増加があったものの、既存のお客様との取引拡大により、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、前年同四半期を上回る新規入庫を獲得したものの、保管在庫量が低調に推移した結果、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は1億28百万円、セグメント利益（営業利益）は41百万円といずれも前年同四半期と同水準となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は90億59百万円（前連結会計年度末比25億42百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加ならびに需要期に備えた商品及び製品の増加によるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は170億8百万円（前連結会計年度末比5百万円の増加）となりました。これは主に水産練製品製造設備の機械装置及び運搬具の増加ならびに減価償却の進行によるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は113億29百万円（前連結会計年度末比34億69百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は47億16百万円（前連結会計年度末比6億64百万円の減少）となりました。これは主に社債及び長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払等により100億22百万円（前連結会計年度末比2億57百万円の減少）となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.7%から38.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年8月4日に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,033,505	1,194,384
売掛金	2,639,843	4,160,641
商品及び製品	791,927	1,161,101
仕掛品	603,412	922,448
原材料及び貯蔵品	1,286,029	1,372,218
その他	162,865	249,146
貸倒引当金	△562	△751
流動資産合計	6,517,021	9,059,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,439,983	6,420,920
機械装置及び運搬具(純額)	2,934,935	3,048,140
工具、器具及び備品(純額)	166,504	167,985
土地	3,267,127	3,267,127
リース資産(純額)	199,985	189,759
建設仮勘定	25,866	—
有形固定資産合計	13,034,403	13,093,933
無形固定資産	330,023	338,659
投資その他の資産		
投資有価証券	2,915,880	2,857,465
その他	747,243	742,781
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	3,638,624	3,575,747
固定資産合計	17,003,050	17,008,339
資産合計	23,520,072	26,067,529
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,877,411	2,279,172
短期借入金	2,879,925	5,984,094
未払法人税等	518,028	60,825
賞与引当金	60,744	243,991
未払金及び未払費用	1,529,559	1,710,549
その他	993,806	1,050,452
流動負債合計	7,859,476	11,329,086
固定負債		
社債	1,175,000	952,500
長期借入金	3,171,303	2,789,770
役員退職慰労引当金	57,034	25,304
役員株式給付引当金	34,624	38,762
繰延税金負債	560,204	542,183
その他	382,838	367,886
固定負債合計	5,381,004	4,716,406
負債合計	13,240,480	16,045,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	7,291,907	7,057,035
自己株式	△56,781	△56,781
株主資本合計	8,825,126	8,590,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,344,224	1,308,853
為替換算調整勘定	110,241	122,929
その他の包括利益累計額合計	1,454,465	1,431,783
純資産合計	10,279,591	10,022,037
負債純資産合計	23,520,072	26,067,529

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,445,577	7,534,354
売上原価	5,810,049	5,842,622
売上総利益	1,635,528	1,691,731
販売費及び一般管理費	1,767,524	1,849,526
営業損失(△)	△131,996	△157,795
営業外収益		
受取利息	106	699
受取配当金	3,808	2,237
受取賃貸料	3,663	4,294
受取手数料	7,964	6,579
受取保険金	8,555	—
為替差益	—	58,868
売電収入	6,696	6,523
雑収入	15,800	11,282
営業外収益合計	46,595	90,485
営業外費用		
支払利息	21,932	14,893
為替差損	25,297	—
持分法による投資損失	6,104	9,595
雑損失	2,707	2,746
営業外費用合計	56,042	27,236
経常損失(△)	△141,443	△94,545
特別利益		
固定資産売却益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産除却損	826	120
固定資産売却損	487	—
投資有価証券評価損	27,746	—
特別損失合計	29,060	120
税金等調整前四半期純損失(△)	△170,449	△94,666
法人税、住民税及び事業税	53,542	64,953
法人税等調整額	△50,595	△35,898
法人税等合計	2,947	29,055
四半期純損失(△)	△173,396	△123,722
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△173,396	△123,722

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△173,396	△123,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,520	△35,371
為替換算調整勘定	△178,070	13,276
持分法適用会社に対する持分相当額	2,387	△588
その他の包括利益合計	△153,162	△22,682
四半期包括利益	△326,558	△146,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△326,558	△146,404
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,502,664	814,402	7,317,067	128,510	7,445,577	—	7,445,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	578,451	578,451	△578,451	—
計	6,502,664	814,402	7,317,067	706,962	8,024,029	△578,451	7,445,577
セグメント利益又は損失(△)	△56,071	△114,779	△170,851	41,610	△129,240	△2,756	△131,996

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,756千円は、主にセグメント間取引消去であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,619,574	786,194	7,405,769	128,585	7,534,354	—	7,534,354
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	605,185	605,185	△605,185	—
計	6,619,574	786,194	7,405,769	733,770	8,139,540	△605,185	7,534,354
セグメント利益又は損失(△)	△56,800	△138,557	△195,357	41,346	△154,010	△3,784	△157,795

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,784千円は、主にセグメント間取引消去であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。